

現代学生気質を探る！

2002KVBC就職フェア 開催

学生にとってまだまだ厳しい就職状況が続くなか、去る4月12日（木）からすま京都ホテルにおいて、KVBC人材ネットワーク主催の「02KVBC就職フェア」が開催されました。昨年に比べて学生数は減少しましたが、真剣な表情で説明を聞く学生も多く、意欲的な姿勢が伝わってきました。

■フェア参加者内訳

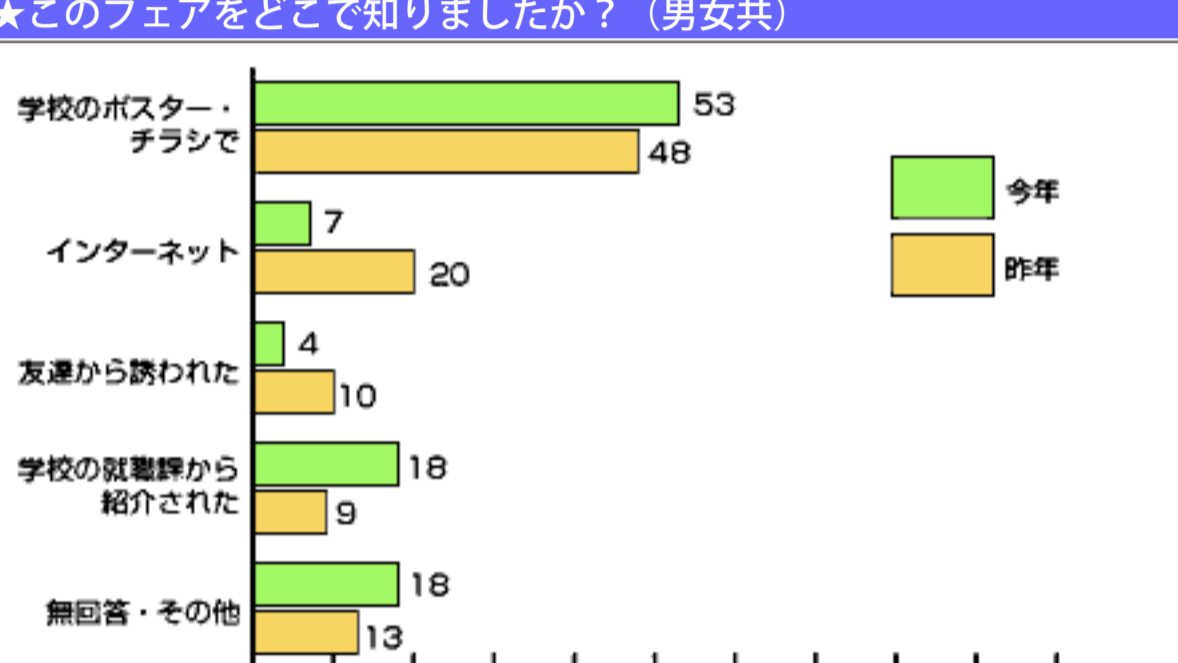
		男性	女性	計
大学院	理系	0	0	0
	文系	0	0	0
大学	理系	4	2	6
	文系	25	27	52
短期大学	理系	0	0	0
	文系	0	1	1
専門学校	理系	40	9	49
	文系	0	0	0
合計		69	39	108

アンケート結果

アンケート回答 合計 92人

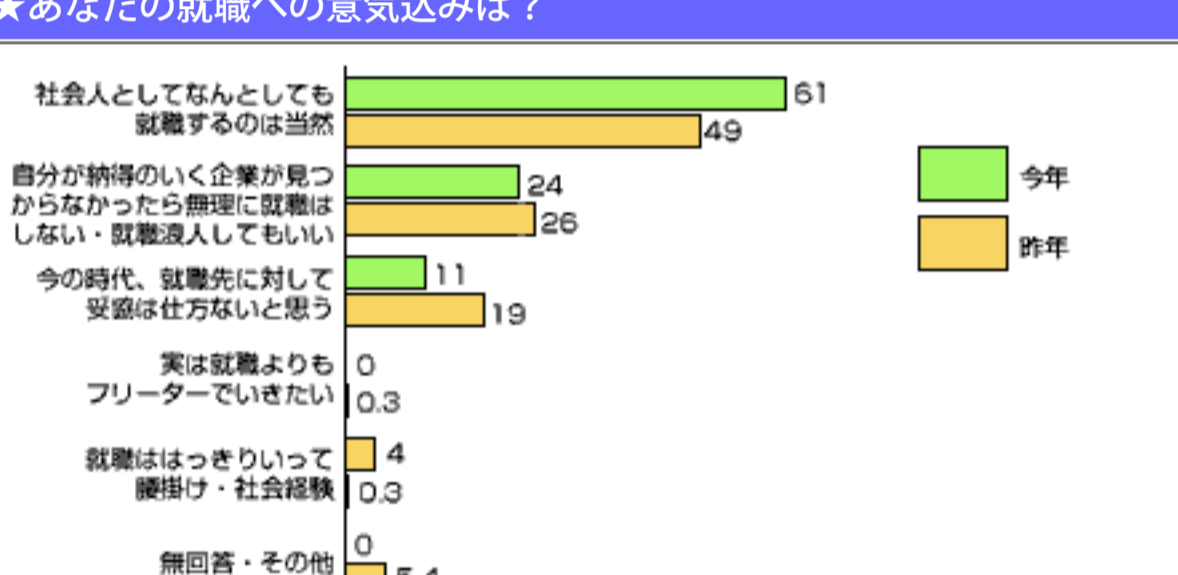


★このフェアをどこで知りましたか？（男女共）



情報収集のベースとなるのはやはり学校。いつの時代でもこの傾向は変わらないようだ。

★あなたの就職への意気込みは？



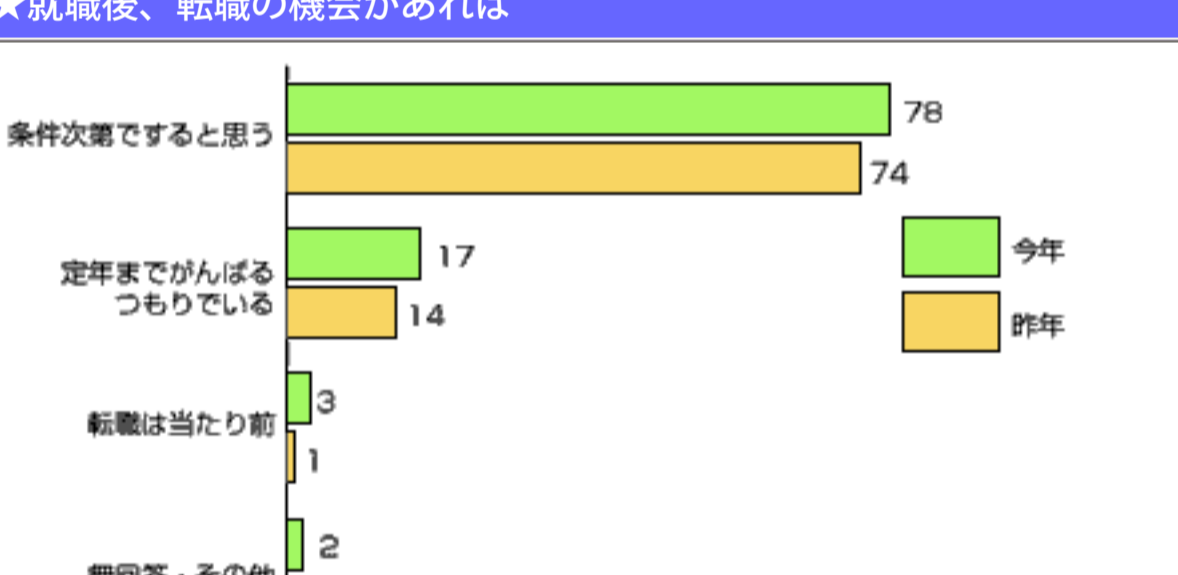
厳しい時代を反映して、就職に対する前向きな意欲が感じられる。

★就職に向けての準備



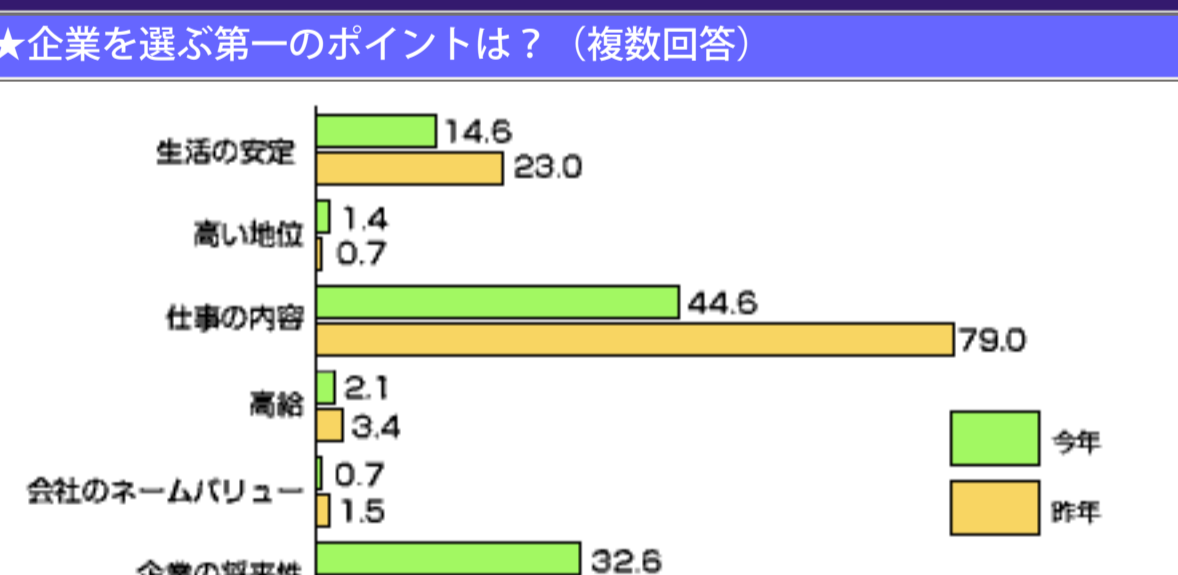
インターネット派が5割を越え、企業もITへの積極的な対応が迫られている。

★就職後、転職の機会があれば



転職容認派が8割近く。終身雇用制に対する意識は確実に薄れつつあるようだ。

★企業を選ぶ第一のポイントは？（複数回答）



仕事の内容、企業の将来性を基準に選ぶ学生が多く、企業は優秀な人材確保のチャンス。

● 参加した学生からこんな意見が寄せられました ●

■あなたやあなたの周囲で就職にまつわる「哀しくもおかしい話」がありますか？

- 一度フリーターになった人が、1年もたたないうちにヤッパリ就職がいいと言いつ出した。すごく現実味がある。
- 面接で自分のPRをしたが、企業の担当者から「そんなことはないでしょ」と言われた。
- 小論文を白紙で提出して合格した。
- すぐ就職したいと思っていた会社の求人募集が、とっくの昔に締め切りを過ぎていた。
- 1時間もかけて企業説明会に並んだのに、女子学生は採用しないとされた。
- エントリーシートを筆ペンで書き、失敗した人がいる。

■就職フェアの感想をお聞かせください。

- マンツーマンで話をすることができ、企業の雰囲気や仕事の内容をよく理解できた。
- 地元京都の企業を知ることができて良かった。
- 参加企業が思ったより少なくて残念だった。
- 第1志望になりそうな企業が見つかった。
- IT関係の仕事を探しているの、今回のフェアはすごく役に立った。
- 学生が少なかった分、さまざまな企業を訪問してじっくりと話を聞くことができた。
- 情報系以外のベンチャー企業の話をもっと聞いてみたい。
- 参加しているベンチャー企業はどれも人材採用に熱心だと感じた。
- 中小ベンチャー企業はセミナーを開催しないところも多いので、こういう機会はとても助かる。